

風と太陽のくにからの通信誌

カラゴロリ

春号
2021



この地に生もうけ
生きていると
いうことは
意味があるんだよ
しゅり
生きていると
その意味が
わかってくるんだね

風のおと

『節目の春に』

3月末に、4人の仲間を送り出し、4月に新しく5人の仲間を迎えました。

4月24日(土)、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、規模は縮小となりますが、50周年式典を挙行予定です。

令和3年度は、50周年を祝う1年間といたしますので、地域の皆さんには、是非50周年記念事業「さくらフェスタ」(4/3~4/11)に足を運んで頂き、施設内の桜を愛でて頂ければ幸いです。

「道、天、地、将、法」は、孫子が掲げた五つの条件です。仕事は戦いではありませんが、孫子は、この五つの条件がきちんと揃っている時、その事業、組織なりは、一つの目標、物事を成し遂げることができると思っています。

赤城は、半世紀の歴史と令和型の教育を融合させ、今後の半世紀に向けて、職員一同取り組みますので、応援くださいますようお願いいたします。

所長 松村 純子

あかぎをつかう!

令和3年度の利用についてのお知らせ



令和3年度の利用にあたって、食事料金の改訂、活動プログラムの追加等、いくつかの見直しを行っております。詳しくは、当施設HPや「2021年度版利用の手引き」で最新の情報をご確認ください。体験活動の火を絶やさぬよう、新型コロナウイルス感染症対策を施しながら、皆様のご利用お待ちしております。



【事業等報告】

■法人ボランティア表彰

3月8日（月）、赤城の法人ボランティアとして3年にわたり活躍した群馬大学4年生の山本周吾さんが、国立青少年教育振興機構本部より表彰されました。

山本さんは夏季の長期キャンプでリーダーを務めるなど、法人ボランティアとして積極的に活動しました。



■皆沢地区の方々との合同防災訓練

3月10日（水）、地元皆沢地区の方々と合同で防災訓練を実施しました。今年度新たに前橋市との間で「災害発生時における連携協定」を結んだことにより、初めて合同訓練を行いました。災害時における防災拠点としての役割を地域の方々に理解していただくとともに、避難者の受け入れ態勢について確認を行うなど、実りある訓練ができました。



■社会教育功労者表彰

3月22日（月）、長年にわたり社会教育活動に功績のあった研修指導員の清野公枝先生が社会教育功労者として表彰されました。清野先生は交流の家の研修指導員として、30年以上の長きにわたり、「切り絵」等の指導をとおして、子どもたちに体験活動の素晴らしさを伝えられました。



.....異動のお知らせ.....

交流の家では、下記のとおり人事異動がありましたのでお知らせします。

令和3年4月1日付け着任

令和3年3月31日付け転出・退職

企画指導専門職 竹内 正則
（前職：北毛青少年自然の家 社会教育主事）

企画指導専門職 横山 直樹
（転出先：群馬県渋川市立橘小学校 教諭）

企画指導専門職 小林 大輔
（前職：埼玉県教育委員会北部教育事務所 社会教育主事）

企画指導専門職 田村 文明
（転出先：埼玉県教育局生涯学習推進課 社会教育主事）

事業推進係員 小林 久瑠美（新規採用）

事業推進係員 山川 晃
（転出先：国立山口徳地青少年自然の家 事業推進係員）

管理係長 長谷川 敦子
（前職：群馬大学研究推進部研究推進課 研究支援係主任）

管理係長 齊藤 勇一
（転出先：群馬大学理工学部 学生支援係長）

事業推進係員 松井 莉乃羽（新規採用）
（パートタイム）

国立赤城青少年交流の家 <https://akagi.niye.go.jp/>
TEL: 027-289-7224 FAX: 027-289-7226
〒371-0101 群馬県前橋市富士見町赤城山27 E-mail: akagi@niye.go.jp

